



スローガン
「幸せ
あふれる
北小」

～私も幸せみんなも幸せ～

はびねす

時津町立時津北小学校
学校だより R7第8号

令和7年9月1日
文責：校長 今井大輔

幸せあふれる2学期に

いよいよ2学期が始まりました。子供たちの元気な笑顔が学校に戻ってきて、賑やかな毎日が始まっています。2学期のスタートにあたり、始業式で子供たちにこんな話をしました。

『してもらおう幸せ』『できるようになった幸せ』『してあげる幸せ』が、学校生活のあちこちにあるといいな』と。

この3つの幸せをたくさん見つけられるように、1学期から全校で取り組んできた4つの「日常行動」を、2学期も大切にしようと呼びかけました。

「明るいあいさつ」「さわやか笑顔」「元気にハイ！」「きびきび行動」

これらの行動は、自分だけでなく、周りの人を幸せにする魔法です。例えば、元気な「あいさつ」を交わすだけで、お互いに温かい気持ちになります。誰かのために「きびきび」と動けば、感謝される喜びを感じるでしょう。こうした小さな行動の積み重ねが、やがて大きな幸せにつながっていくはずですよ。

また、始業式では「言葉」についても話をしました。

「人の心が傷つくような、嫌な思いをするような言葉は使わないようにしよう！」

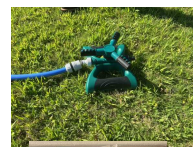
残念ながら、「死ね」「殺す」「キモい」といった、聞く人の心を深く傷つける言葉を耳にすることがあります。使う側は軽い気持ちかもしれませんが、言われた側の心には一生消えない傷を残してしまうかもしれません。温かい言葉がみんなを幸せにするのに対し、冷たい言葉は誰も幸せにしません。言葉は、人を笑顔にも、悲しい気持ちにもする力を持っています。

この2学期、子供たちにはこの4つの行動と、相手を思いやる言葉遣いを習慣にしてほしいと願っています。この取組については、ご家庭でもお子さんと一緒に話していただけたら幸いです。

温かい支援に感謝

久留里郷にある「(株)あおぞら不動産」様に今年度も温かいご支援をいただきました。これまでも本校の教育活動にご理解を示してくださり、大型テレビや書籍など、子供たちの学びを豊かにする品々をご寄贈いただきました。今年度は、運動場や校庭で大活躍する、素晴らしい品を3種類もご寄贈いただきました。

まず一つ目は、スプリングラースで、運動場の芝生に水をまく際は、何人もの教員が協力してホースで散水していただきました。このスプリングラースセットがあれば、時間をかけて水をまく必要はありませんが、教員一人でも作業ができるため、作業の負担が大幅に軽減されます。



2つ目は、リヤカーです。敷地内の草を刈った後や、重い荷物を運ぶ際に大いに役立ちます。一度にたくさんの方の荷物を運ぶことができるので、日々の作業がとても効率的になります。



そして3つ目は、ライン引きです。ご寄贈いただいた株式会社モルテン製のライン引きは、軽くて扱いやすく、サビににくいのが特徴です。子供たちでもまっすぐで綺麗なラインを引くことが出来るため、体育科の授業や体育祭で大活躍してくれることでしょう。見た目もカッコよく、2学期から使うのが今からとても楽しみです。

大切に使用させていただき、子供たちの健全な成長のために役立てていきます。本当にありがとうございます。

サマースクール

北小恒例の夏休み中のサマースクールが、8月5日(火)～7日(木)までの3日間行われました。CSの地域協働本部が主体となって行っています。地域の方や大学生が指導をしてくださり、5、6年生が集中して学習することができました。とてもありがたい活動です。



つづやき

「夏の終わり」と聞くと、私と同世代の方々は、ある曲のフレーズを思い出すのではないだろうか。この季節になると、誰もがそれぞれの夏の思い出を心に描くことだろう。

今年も、時津夏まつりのフィナーレを飾る花火の音が夜空に響き、夏が終わりを告げたことを実感した。ご家庭ごとに、夏の終わりを感ずる習慣があるかと思う。例えば、夏休み最後の日に家族でBBQを楽しんだり、部屋の模様替えをしたり、あるいは家族みんなで宿題を頑張ったりと、きっと様々だろう。

我が家では、いつからか8月後半に阿蘇を訪れることが恒例となっている。涼を求めて、そしてお気に入りの醤油を買うために出かけるのだが、今年は例年以上に暑く、「本当にここが阿蘇？」と思うほどだった。長崎に戻ってきてからも暑さは変わらず、年々、夏の暑さが増しているように感じる。7年前まで学校にエアコンがなかったことを考えると、子供たちが快適に学べる今の環境は本当にありがたいものである。

しかし、一步教室を出れば、そこにはまだ夏の熱気が残っている。子供たちが安全に過ごせるよう、熱中症への注意を呼びかけながら、この残暑を乗り越えていきたいと思う。皆様も、どうかご自愛ください。

第2号に続いて今回もペアレントトレーニングを紹介します。今回はステップ1として「望ましい行為」「望ましくない行為」「許しがたい行為」の中でも「望ましい行為」に積極的に目を向けましょう、見つけましょうというものでした。今回はステップ2です。繰り返しになりますがステップ1をクリアしてからこちらの実践に入ってください。

ステップ2 ～してほしい行動を増やすために～

ステップ2の目標はステップ1で見付けたことを子どもに知らせることです。例えば仕事を終え家に帰ると、お子さんがすでに宿題を終わらせていたとします。その時かける言葉は「えらいね。」等ではないでしょうか。これは「望ましい行為」を見つけ、「ほめる」ことです。もちろん「ほめる」ことも有効ですが、他にも見つけた「望ましい行為」を知らせる方法として、

- ・励ます…「がんばれ。」「あと〇問だ、もう少し！」
- ・気付いていることを知らせる…「おっ宿題してる。」
- ・感謝する…「自分でやってるから、助かる～」
- ・興味・関心を示す…「割り算の筆算をしてるのか～」などで実況中継でもOKです。



また知らせる際のポイントとして、

- ・行いをほめる…「教科書ノート出してるね」が〇で「いい子だね」ではない。
- ・タイミング…できるだけ早く（行いのし始めや最中、直後に）
- ・目…視線を合わせて（聞いているか確認、そばに呼ぶかそばに行くか）
- ・体…同じ目線で、見下ろさないように
- ・表情…ほほえんで、柔らかい表情で
- ・声の調子…子どもの行為で自分の気持ちがよいことを表すように
- ・ことば…短く、明瞭で、肯定的に。どの行為が嬉しいのか伝える。
- ・効果的な方法を…その子にとってどの方法が嬉しいか



（大袈裟に？静かに？みんなの前で？個人的に？）

- ・皮肉をさける…「教科書ノート出してるね。でもノートはまだだね。」

ついやってしまいがち！

「やっとできたね。もう少し急ぐといいね。」後ろ2つはカット

その他のポイントとして「やり終える前のプロセスにも声かけ」「大変な作業をやりやすくする、スモールステップ化」（漢字終わり→声掛け、算プリ終わり→）なども挙げられています。

上記の・の事項、10～12個ほどできるようになったら次のステップ3へ。なかなか難しい場合はステップ1に戻ってレッツ、トレーニング！